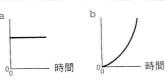
\$ K & ...

(1) 柳体が斜面を下る運動では、絶えず斜面に (平行・垂直)な重力の分かかはたらくために → 等力の速度運動をする. (平行)

すた、その時の速さが増加する割合は、斜面の角度が 大きいほど(大きり、小さり)

(2) 斜面を下る運動において 時間と速さを表すからっ は、右の (a·b·c)で.



日寺間と粉動距離玄葉すグラフ 1t. (a.b.c) ~ 53.



時間が及える→速さも一定の割合で増える